

岳南広域消防本部及び中野消防署庁舎建設 基本設計

□新庁舎4つの基本コンセプト (岳南広域消防本部及び中野消防署庁舎建設概算設計書より抜粋)

コンセプト1

守る・防ぐ

住民を守るための災害拠点

- ・ 災害に強く、住民の安全・安心を確保するための庁舎
- ・ 災害発生時に迅速な対応が可能となる庁舎

コンセプト2

集まる・繋がる

人が集まる、繋がるコミュニティ

- ・ 地域のシンボルとして魅力的な庁舎
- ・ 多様なつながりや賑わいを生み出す、開かれた庁舎

コンセプト3

活きる・輝く

執務空間が確保され働きやすい職場

- ・ 業務の効率化、変化に対して柔軟に対応できる庁舎
- ・ 働きやすく、パフォーマンスを発揮できる庁舎

コンセプト4

未来・継続

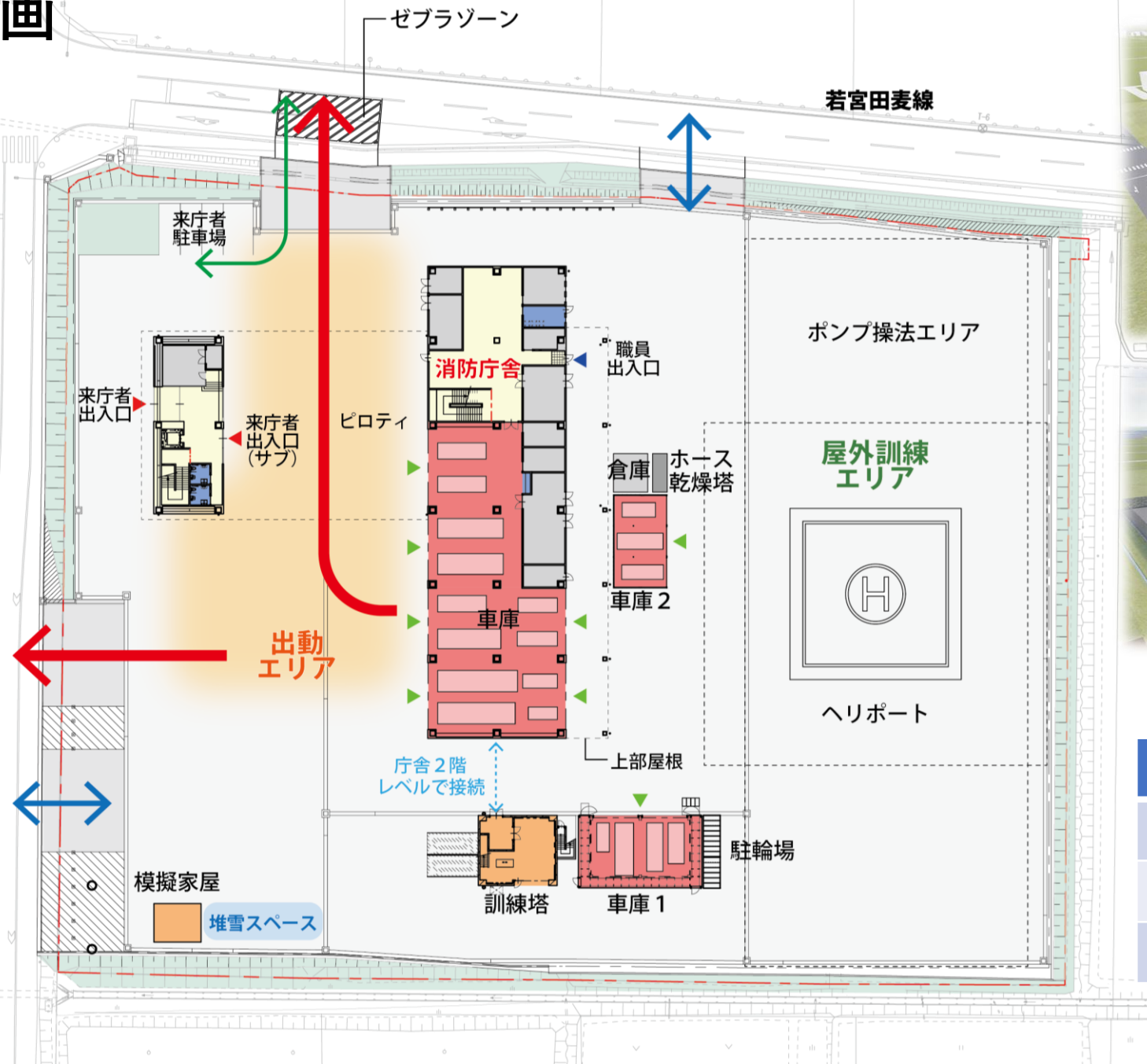
環境や景観への配慮

- ・ 様々な手法を取り入れ、環境負荷を低減できる庁舎
- ・ 緑豊かな中野市の景観形成や周辺環境に配慮した庁舎

広域図

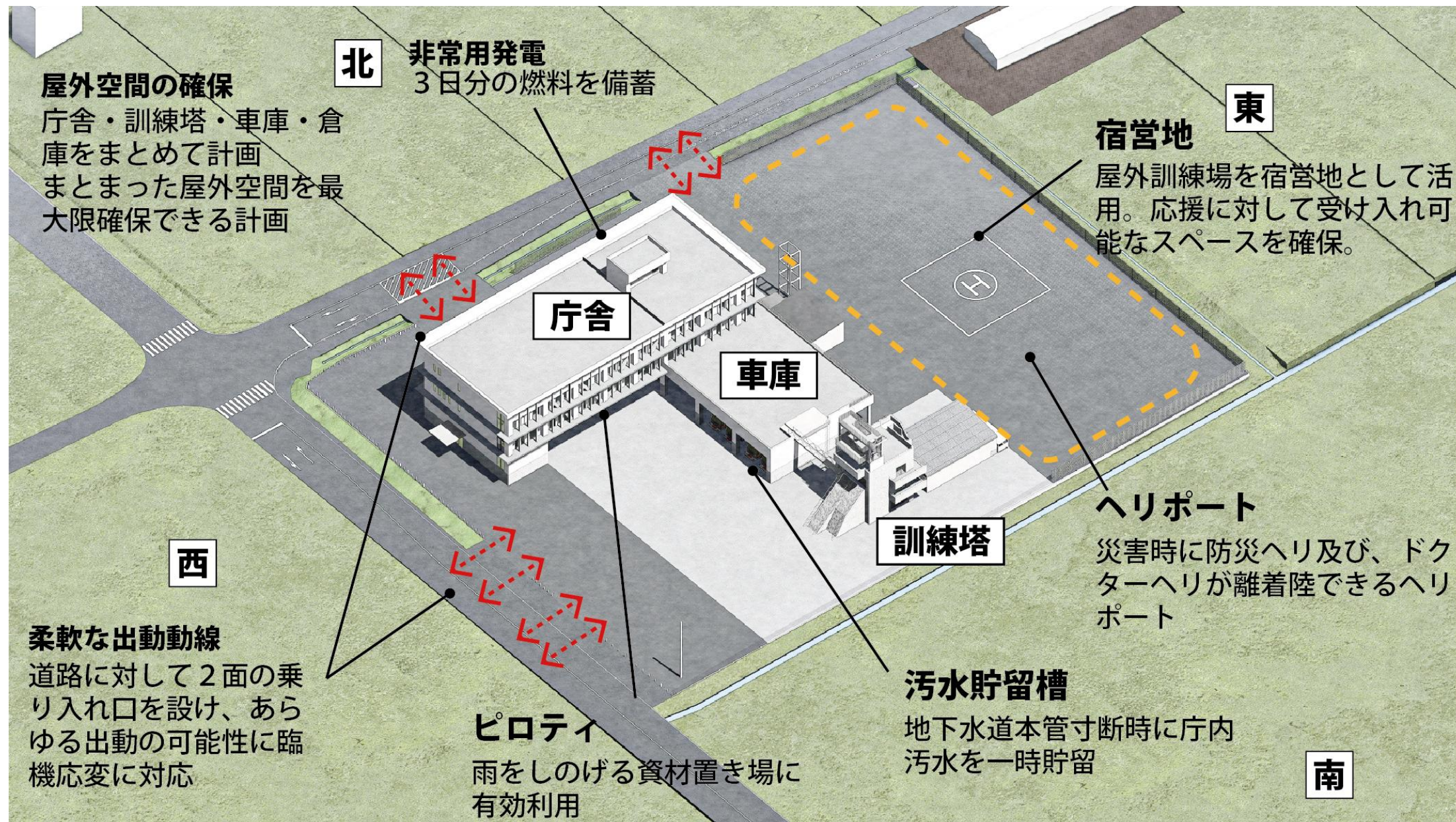


配置計画



場所	大きさ
敷地	約11,000m ²
庁舎	約3,000m ² (3 階建て)
訓練塔	約250m ² (5 階建て)

防災計画



ユニバーサルデザイン

リラックス Relax やすらぎ

- 出勤後のクールダウン
- 訓練の合間の休息
- 自然なコミュニケーション
- 心理的安全性を高める“くつろぎ”の場

隊員が安心して戻ってこられる場所をつくる

フォーカス Focus 集中

- 報告書作成、事案検証などの個別作業
- 隊長の判断作業
- 静かに集中したい時の逃げ場
- 乗り換え運用・隊編成にも対応した1人ブース

誰もが“集中できる場所”を選べる

プロダクティビティー Productivity 生産性

- 2～4人：小隊ミーティング、軽作業
- 5～15人：当直ミーティング、中隊共有
- 15人以上：講習、訓練説明、多目的利用

隊の人数変動に柔軟に対応し、協働の質を高める



環境設備計画

